

東北米粉シンポジウム

「稲作」の持続的発展に向けて



入場無料

開催日：平成 23 年 1 月 24 日(月)
10 時 30 分～ 16 時
会 場：夢メッセみやぎ会議棟
(大ホール・会議室)

「お米」それは日本人の食生活に欠かすことが出来ません。
その消費量は年々少なくなっています。
そんな「お米」の新しい食べ方として「米粉」が脚光を浴びています。
製粉技術の発展によりパン・めん・ケーキなど無限の可能性を秘めています。
日本全国、いつでも、どこでも食べられる「お米」の新たな食べ方」を提案します。

①シンポジウム〔13時～16時〕

《基調講演》大ホールA 13時～

「米粉の利用・加工技術・加工品の開発について」
新潟大学大学院教授 大坪 研一氏

農学博士

新潟大学大学院自然科学研究科教授

昭和 49 年 3 月 東京大学理学部生物化学科卒業

昭和 56 年 4 月 農林水産省入省

平成 5 年 4 月 食品総合研究所穀類特性研究室長

平成 17 年 6 月 同研究所食品素材部長

平成 20 年 3 月 同研究所食品科学研究領域長で退職
現在に至る

《情報提供》大ホールA 14時40分～

- (独) 農業・食品産業技術総合研究機構
作物研究所 米品質研究 チーム長 鈴木 保宏氏
「米粉パン等の米粉利用に適する特性の解明と適正品種の選定」
- 宮城県古川農業試験場 作物育種部長 永野 邦明氏
「米利用の観点からみた米東北 189 号・東北 198 号」
- 全国農業協同組合連合会 秋田県本部参与 児玉 徹氏
「米粉利用に関する秋田 63 号の特性」

《意見交換》

- 事業者と米粉に適した品種についての意見交換

②展示イベント 10時30分～16時

- ・米粉関連機器等の展示：大ホールB
- ・東北の食品メーカーによる米粉食品（パン・めん・スイーツ）の展示、試食：会議室
- ・三洋電機「GOPAN」の展示、試食：会議室

※シンポジウム開催中はデモンストレーションを行いませんので予めご了承ください。

主催：社団法人米穀安定供給確保支援機構・東北米粉利用推進連絡協議会
後援：東北農政局・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県

